

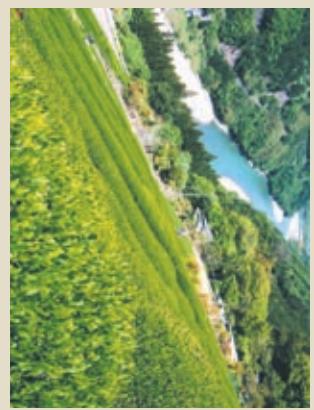
# 天龍村観光協会



ブッボウソウ（村鳥）  
長野県の天然記念物。夏鳥として毎年5月上旬に渡来します。



和知野川キャンプ場／県下でも一番の清流である和知野川沿いにあります。



ふれあいステーション龍泉閣／JR平岡が併設された宿泊施設。大展望浴場は、「村営おきよめの湯」からの直送のお湯です。信濃恋しから車で10分。

## 天龍村ガイド

## 天龍村ガイド

娘の、故郷を離り、入を想ひ誰かが天に通じた不可思議で信濃の國を惜しむかのように船のへさきが上流を向くことになり、これを「信濃恋し」の地名の由来であるとする説もあります。



娘は堪え難い別れの悲しみで舟を運んでおりました。時に娘が急難（じゆなん）になり、御舟袋（ごふねふく）を水田に投げ入れました。

### ◆信濃恋し物語◆



●信濃恋しの地形  
平岡ダム完成（昭和26年）以前の当地は、急流と岸壁がぶつかり、複雑な地形となっていました。そのため、川はいたん上流に押し戻されるよう流れをなしていました。そこに、諏訪湖方面から木材を運ぶ筏や、旅の船が流れてくると、まるで信濃の国を惜しむかのように船のへさきが上流を向くことになり、これを「信濃恋し」の地名の由来であるとする説もあります。



「信濃恋し」「に小石を投げぬれば、恋いかず」と云われています。  
「一つの小石に自分の名を、もう一つの小石に想う相手の名を記しません」  
暮らすひとがして言われていました。  
「夫婦が」「信濃恋し」「に小石を投げぬれば、夫婦円満、生活仲良くされていきます」

一、恋人同士が「信濃恋し」「に小石を投げぬれば、その恋が実るかが叶ふ」といいます。



ここには縁結びの名所

信濃恋し

名勝